

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	森ゼミⅢ
チーム名	森レモンスカッシュ
タイトル	リスクを好む人達
テーマ群	c) 公共経済
メンバー	◎野根 将太、下瀬 弘、菅 智恵美、谷川 るり子、久保 正孝、 田村 桂二紀、田伏 晃、奥谷 裕、佐野 剛史
研究計画内容	<p>私たちのゼミは、人間の行動や決断について研究致します。</p> <p>リスクに直面する人間の行動、特にその中でもリスクを好む者達(=リスクラバーズ)がリスクに直面した時の行動や選択、またその者達とタバコとの関係性はあるのかどうかと言った事を明らかにしていきます。</p> <p>この調査により、わたしたち人間はいかに、従来の経済学の見方からすると、ちっとも合理的でない行動ばかりとっているかがわかるようになっていきます。</p> <p>調査方法は、伝統的な期待効用仮説に代わりうる不確実性下の行動モデルとして有力なものの一つである「プロスペクト理論」(prospect theory)をもとにして、サンプルにアンケート等を用いて調査を行い、どのような結果が出たのかを統計する方法です。プロスペクトとは「予測や見込み」などを意味することばで、プロスペクト理論とは、人々がくじ引きや株式投資など結果が確実でない、リスクが存在するような商品を購入する際に、そのリスクに対してどのような見込みを行い、どのような行動をとるかについて説明するモデルといえます。</p> <p>調査結果の詳細についてはインゼミの時まで控えさせていただきますが、大変興味深い結果が出ると思います。たとえば、人々はある場面では危険回避的な行動をとるのに対し、別の場面では危険指向的な行動をとり、場面場面で互いに整合的でなくなることがあるといった事例です。これだけでは何の事かわからないと思いますが、ゼミではこれを具体的に、また面白い例えを使用して説明していきます。</p>